

令和7年度 学校評価報告書（目標設定・実施結果）

視点	4年間の目標 (令和6年度策定)	1年間の目標	取組の内容		校内評価		学校関係者評価 (3月6日実施)	総合評価（3月25日実施）	
			具体的な方策	評価の観点	達成状況	課題・改善方策等		成果と課題	改善方策等
1 教育課程 学習指導	①基礎的な知識・技能の習得とともに、思考力・判断力・表現力を育み、主体的に学習に取り組む意欲を高めるような学習活動の実践を目指す。 ②生徒の学力向上と希望進路保障のために授業改善を推進し、カリキュラムマネジメントに取り組む。	①生徒の自律的な学習活動を促す取り組みを各教科・科目で実践する。 ②各教科で定めたカリキュラムデザインに合わせて、教員のカリキュラムマネジメント能力を高める。	①取り組みやすい課題の設定、補習や夏期講習の実施などで自律学習を促す。 ②授業改善に関する研修会、研究授業などを実施する。	①生徒による授業評価における満足度80%を維持しているか。 ②それぞれの振り返りなどで、プラスの記述が見られるか。	①授業評価における満足度80%を維持することができた。 ②カリキュラムデザインに関する研修会を実施することが出来た。	①授業評価の自由記述欄で、プラスの記述がさらに増えるように検討する。 ②研修会・研究授業の後に、教科全体でより良い実践につながるような振り返り・共有をより積極的に行う。	・デュプロマポリシーの授業化は困難だが、目指す生徒像が共有され全体で取り組んでいることが分かった。	①自由記述の分量がより増える事を目指す。 ②KCP会議と各種訪問により方向性が定まってきた。	①魅力溢れる授業により向学心を高める。 ②授業者全員が授業改善の主体であることを認識する。
2 生徒指導・支援	①生徒の主体的な取り組みを通じて学校生活の充実を目指す姿勢を育む。 ②生徒の多様性を踏まえた支援体制の充実を図る。 ③日常生活や学校活動の意義を深く理解し、自分自身の成長を常に求めようと努力する姿勢を育む。	①行事や諸活動の目的、課題を常に考えさせながら、生徒を支援し、活動状況を全体で共有しながら、より充実した活動内容を目指す。 ②生徒の多様な状況に合わせた支援体制の充実を図る。 ③学校生活におけるルールやマナーについての意識を高めさせる指導体制の充実を図る。	①生徒の諸活動において、課題の改善につながる情報共有や振り返りを常に求めていく。 ②教育相談にかかわる情報共有と外部機関との連携を進めて生徒の支援体制の確立を図る。 ③日常的な指導に加え、集会やオンライン配信を通じてルールやマナーへの意識を高め、教員間の情報共有を徹底する指導体制の確立を図る。	①目標の達成状況や課題・活動の経過について十分な振り返り等ができていくか。 ②教育相談の成果を踏まえ、生徒や保護者に適切な支援ができたか。 ③生活指導の成果を踏まえ、生徒や保護者に適切な、指導ができたか。	①各行事等において目的を提示し、生徒の自主性を活かしながら活動、振り返りを行った。 ②教育相談担当を増やし、SC/SSWとの情報共有の連携がスムーズになり、生徒の困り感に対応する機会が増えた。 ③集会、オンラインでの配信、掲示物、校内巡回など様々な方法でルールやマナーの向上に努める機会を増やした。また、問題行動には丁寧な対応をした。	①振り返りの場面で、次につながる方策などを共有し、さらなるサイクルを産めるように振り返り方法を改善する。 ②得た情報を効果的に支援体制に活用するためには、学年毎に対応できる教育相談担当者の体制づくりと共有方法の改善を図る。 ③対応型の指導から予防的指導、開発的な指導へと更なる指導体制づくりを検討する。	・自転車のスピードや並走、ヘルメット着用について、一層指導して欲しい。 ・バスの乗車マナー（優先席等）についても一層指導して欲しい。 ・小学生や地域の方々へきちんと挨拶をする生徒もいる ・オンラインカジノについて、継続して注意喚起をして欲しい。	①実行委員長や団長を中心に自立的な活動が増えた。担当顧問の介入を減らす工夫が課題である。 ②情報共有が進み多様な支援が可能となった。 ③日常生活での規範は、浸透しているが、校外での逸脱やSNSを起点とする問題行動の増大には後追いで対応になっている。	①振り返りによりマニュアルを充実させ、早い時期から実行委員会を始動していく。 ②各学年一致した支援体制で共通化された方式で支援に取り組む。 ③個別事象への対応の他に、自我の確立や強固な倫理観の醸成を成し遂げる生徒指導の方法を模索する。
3 進路指導・支援	①生徒が主体的に考え行動し、自身の将来を開拓していく力を育む。 ②探究活動を通じて協働することを学び、社会への理解を深め、予測不能な社会で生き抜いていく力を身に付ける支援をする。 ③学習活動を通し、生涯に渡って学び続ける基礎力を育む。	①各種ガイダンスや模試等を積極的に活用し、生徒一人ひとりが主体的に自己の可能性を広げ、高める意識を向上させる。キャリア形成に向けて主体的な活動ができるよう支援する。 ②探究活動を通じて、社会への興味と課題意識を持ち、自己の考えを整理し、明確に言語化できる力を育成する。	①模試や面談を活用し、進路意識の向上を図るとともに、具体的な行動をとれるよう計画・振り返りの活動を充実させる。 ②個人・グループ活動の両方を充実させるとともに、受験を意識した探究活動も行っていく。	①面談やガイダンスを生かすとともに、模試に向けて努力し、振り返りの中で進路意識が向上したか。 ②探究活動を通して社会に関心と問題意識を持ち、自己の思考を明確に言語化できたか。	①各種ガイダンスや模試等を活用することで、生徒に具体的な進路を考えさせ、具体的に何をすべきかを意識させることができた。 ②探究活動のあり方を整理し、予測困難な社会において活用できる能力の育成を行った。	①年内型入試をはじめ多様化する入試形態に対応できるように、広い視野をもって進路選択ができるように指導内容を充実させる。 ②探究活動について「金井スタンダード」といえるものを構築することで中・長期的な指導ができるようにする。	・とても良い卒業式であった。 ・生徒も教員も進路先についてよく調べ、知識を持って安心した。 ・消極的な進路選択が減っていることを嬉しく思う。	①上級学校や職業業種の紹介や方法論に進展を見た。進路選択の要の個々人のビジョン策定へのアプローチが次の課題である。 ②探究活動再編のためWGで検討を加えた。	①概略説明から個別大学や個別入試等、より具体的な指導が可能となった。 ②金井生の「将来の社会参画を地域との接続」を中心に据え具体化する方策を策定する。
4 地域等との協働	①地域や保護者との連携を推進し、開かれた学校づくりを進める。 ②中学生やその保護者に本校の魅力を効果的に伝え、本校を志願する生徒を増やす。 ③近隣地域との交流の意義について理解させ、地域との交流行事を増やす。	①③地域や保護者との連携をさらに進めるために学校運営協議会をより有効に活用する。 ②ホームページや学校説明会などの内容をさらに充実させ、受検生やその保護者などに本校への理解を深めてもらう。	①③生徒やPTAが様々な行事に参加できるように案内をする。 ②各種広報活動で生徒が活動できる機会を与える。	①③地域イベントに生徒が参加できたか。PTA活動が実施できたか。 ②学校説明会などでは生徒の活動の機会が十分に持てたか。	①③学校運営協議会やPTA実行委員会を定期的に開催できた。合唱部などが近隣の障がい者施設などを訪問できた。 ②学校説明会などでは生徒ボランティアが司会や発表をする時間を作ることができた。	①②③地域との交流や各種イベントは授業や部活、職員の休日勤務などの課題があるが、多くの生徒や教員の協力により全ての行事が概ね成功した。今後は新設校（完校）に向けた情報発信も検討したい。	・生徒と地域の交流がもっとあったらいいと思う。 ・再編統合を新たな試みのためのきっかけとして欲しい。	①学校運営協議会で詳細な報告が出来、様々な意見をいただいた。マナー指導に課題がある。 ②説明会でのかなキャンの働きは大きな成果である。	①地域からの情報提供への対応を丁寧かつ即応の体制を堅持していく。また、地域への協力をさらに進める。 ②学校活性化のため生徒の活躍の場を拡げる。

	視点	4年間の目標 (令和6年度策定)	1年間の目標	取組の内容		校内評価		学校関係者評価 (3月6日実施)	総合評価 (3月25日実施)	
				具体的な方策	評価の観点	達成状況	課題・改善方策等		成果と課題	改善方策等
5	学校管理 学校運営	<p>①安全・安心な学校づくりを推進する。</p> <p>②50周年の周年行事を通じて、地域や卒業生の力を本校の教育活動に最大限に活用していく。</p> <p>③職場の民主化・平準化の充実を目指し、様々な方面の調整を進める。</p>	<p>①老朽化や危険箇所への対応を適切に行う。</p> <p>②周年行事について詳細な内容を決定し、滞りなく実施していく。</p>	<p>①修繕・修理が必要な箇所を把握し、迅速に対応する。</p> <p>②地域や卒業生との連携を深めながら事業内容を遂行する。</p>	<p>①学習環境に支障がないよう配慮できたか。</p> <p>②周年行事を計画通り実施することができたか。</p>	<p>①関係各所と調整を行い、学習環境を整えることができた。</p> <p>②50周年記念式典については、滞りなく実施することができた。</p>	<p>①今後の教室配置について引き続き検討が必要である。</p> <p>②資料等の整理や保管を適切に行う。</p>	<p>・3/6協議会では、学校管理・学校運営への意見は寄せられなかった。</p>	<p>①分教室との合同訓練を今年も実施できた。発災時の様々な想定への対応が今後求められる。</p> <p>②在校生及び卒業生さらに地域との協働により、50年の取組みを披瀝でき、在校生の帰属意識の醸成が進んだ。再編統合後の新校編成に向け学びの継続を実現していくことが課題である。</p>	<p>①校舎改修工事が一段落し発災時の混乱要因が消失したので、避難経路の徹底を重ねていく。</p> <p>②新校編成に生徒の意見を反映させるための組織化を行う。</p>